

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 認知症の理解	授業の種類 （講義）	授業担当者 館 和則	
授業の回数 30コマ	時間数（単位数） 60時間	配当学年・時期 1年後期・2年前期	講師の実務経験 有・無
[授業の目的・ねらい] ・ 認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習			
[授業全体の内容の概要] ・ 認知症の本質や認知症の人の心理状態、認知症特有の症状やケア、認知症を取り巻く社会環境などを正しく理解し、認知症の人に対する適切な全人的ケアを提供できるようになる知識について学ぶ			
[授業修了時の達成課題（到達目標）] ・ 認知症ケアの理念について理解できるようになる ・ 認知症の方へのケア方法について理解できるようになる ・ 認知症の人の終末期医療について理解できるようになる ・ 認知症についての制度について理解できるようになる			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 1 認知症の理解度の確認 2 映画「毎日がアルツハイマー」視聴 3 認知症の定義・認知症の特徴 4 記憶障害・物忘れ（認知症と物忘れの違い） 5 中核症状・見当識障害 6 小テスト・振り返り 7 認知症の生活障害 8 BPSD 9 アルツハイマー型認知症 10 脳血管性認知症・レビー小体型認知症 11 前頭側頭型認知症・その他の認知症・若年性認知症 12 認知症診断と重症度 13 認知症治療薬 14 定期試験・振り返り 15 バリデーション 16 前期振り返り 17 パーソンセンタードケアについて 18 新オレンジプランについて 19 若年性認知症について 権利擁護・高齢者虐待			

- 20 ユマニチュード①
- 21 ユマニチュード②
- 22 認知症の人へのアセスメント
- 23 認知症の人へのアプローチ①
- 24 認知症の人へのアプローチ②
- 25 家族支援
- 26 認知症の人の終末期①
- 27 認知症の人の終末期②
- 28 定期試験
- 29 国家試験対策
- 30 国家試験対策

[使用テキスト・参考文献]
中央法規出版 認知症の理解

[単位認定の方法及び基準]
(試験やレポートの評価基準など)
出席率を含めた授業態度 課題レポート・小
テスト35% 定期試験65% *評価基準
は評価記入用紙による。

*評価基準は評価記入用紙による